

君のため
えっちな女の子に
なりました。



成人向
18禁
FOR ADULT ONLY

君のため
えっちな女の子に
なりました。



●この本でえっちなことをする人たち●



●千歳(ちとせ)ちゃん●

基本的にあんまり喋らず、喋ってもかなり小声。
でも表情やスキンシップの多さで、
感情表現はとても豊か。

達也君とは家が隣同士で家族での親交も深く、
実の弟のように可愛がってきた……が、
ある日、そんな弟のように思っていた男の子から
告白され、恋人同士となる。

これまで恋愛経験もなく、どうすれば達也君に
喜んでもらえるか頑張ってあれやこれやとお勉強中。



●達也(たつや)くん(たっくん)●

物心ついたころから千歳ちゃんに可愛がられてきたが、
どうしても姉としては見れず、
漫画やネットや友達からの話で恋愛という概念を知り、
千歳ちゃんへの自分の気持ちが恋心だと自覚する。

エロいものに触れる時期が早かったため(友達から色々借りた)
性的にやや早熟気味。

千歳ちゃんに告白し、恋人同士になったのはいいものの、
特に何かが劇的に変わったわけでもなく、もやもやしている。



彼女の名前は千歳さん：
オレの家の隣に住んでる
年上のお姉さんだ



「たっくん」とは
オレ、達也のことだ。
彼女の弟――



――ではなく、
一応……これでも
千歳さんの彼氏だ。



お互いに両親が
仕事であまり家に帰って
こないの、
オレたちはどっかの家で
過ごすことが多かった

千歳さんは弟が出来たみたい
にうれしそうに
構ってくれたというか
お世話してくれたというか...

オレが大きくなってからも
平気でお風呂に一緒に
入ってきたり...

転んで
怪我したときも
慰めてくれて

女の人として
意識してしまうのも
当然のこと...



そして先日、
オレは勇気を出して
彼女に告白した

千歳さん...
その...えと...

オレのが、
彼女になって
ください!









なんだこれ！
大きくて柔らかくて
温かくて
いい匂いがして

やばい
めちやくちや
むしやぶりつきたい



口の中きもちよくて
頭真っ白になるー



あれ、
なんか……

下の方にも
おっぱいと同じくらい
柔らかいものが……



12









千歳さんとの
はじめてでそんなの
つけどくないっ！

……いやだ

待っ…！

そんなのいらない…！
オレの好きにしていって
千歳さん言ったもん…！

千歳さんが
わるいんだろっ

なんでそんなに
えっちなのだっ！













作中にもあった告白シーンの最初のイメージ。
これはこれで、って感じがします。

●キャラデザとか●

無口設定なので出来るだけ地味に、でも別に性格的に
暗いというわけではないのでふんわりした感じを目指しました



描き始めた当時、やたらと女の子の
マフラー姿が愛おしかったので……

ちょっと下着が派手めかなーと思ったので作中では
地味な感じにしましたが……別にこっちでよかったよね(今更)

●あとがき●

今回はセリフ文控えめにしたよ、ほめて(挨拶)
いや、どうかな……まだ多いような気がします(不安)

前回はファンタジー系で、おねショタとしては
やや変な球気味だったので、今回は難しいことは考えず、
極力いつも通りに、行きつけの定食屋に入って
新メニューとかめっちゃ推してるけどそれでもやっぱり
つついづいづいものを頼んでしまうような、
そんな安心感(?)のある一冊を目指しました。

おねショタとして正統派かどうかはわかりませんが、
とにかくヒロインの子に自分の理想像を
ぶつけまくってやろうと思い、
少なくとも個人的にはこんな子に出会ったら
0.1秒でガチ恋してしまう子に仕上がったと思います。

無口だけどもめちゃくちゃべたべたしてくる子とか
ほんとと最高……すき……(仏顔)

ただお相手のショタっ子がこれまた地味に
難度でして……。
いまいち、ヒロインの子と吊り合いの取れた
キャラ像が思い浮かばなかったというか。
思い浮かびはすれども、決めあぐねていたというか。

結果的にたっくんみたいなキャラに
落ち着きましたが、他にも選択肢はあったような、
しかしそれらではダメだったような、
描き終わった今でも悩みます。

昨年冬も確かおとなしめの女の子がヒロインの
本を描いていた記憶がありますが、
それとの差別化を考えすぎたりしたのも
原因かもしれません。

さておき。
絵的には……まあ、ともかく、
ここ数年ほど続いているおねショタシリーズは、
「こんなお姉ちゃんがいてほしいだけの人生だった」
シリーズと言い換えることも可能で、
個人的には今回の千歳ちゃん
かなり満足してしまった感があり。

正直、「次からどうしよう……」
という感じでずるあるのですが。
どうしましょうね。
おねショタ自体はもっと描きたいんですけど。

おねロリもどうだろうか、と
考えることが多くなり、
ネタ自体はとりあえず一本
あるので、次の春のコミ1
あたりで出せばいいなと
思っています。

Pixiv Fanboxの方で昔の、
総集編にすら入れてないあたりの本を
公開していますが、
あの頃は百合本の比率クッソ高くて、
見てるとだんだん当時の熱が
よみがえってきたというか。

オリジナルで百合って描いたことなかった……
ような気がするの、こころで挑戦してみたく。
まあ……例によってここで書いてる予告は
あんまりアテにならないんですけど(小声)

そんな感じで。
また来週。

2018年12月某日 RYO



君のため
えつちな女の子
になりました。

2018年12月31日 発行

印刷会社：PICO様

発行：没後

著者：RYO

URL：<http://www.vesta.dti.ne.jp/~mayaul/>

MAIL：ryo5120@gmail.com

本書の複製・複写・インターネットへのアップロード等を固く禁じます。
乱丁・落丁本については、お手数ですが上記の連絡先までご連絡下さい。

君のために
えっちな女の子に
なりました。

